

令和3年度 学校法人藤枝学園事業報告書

自 令和3年4月1日至 令和4年3月31日

I 学校法人の概要

1 目的

学校法人藤枝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教の教義に基づき学校教育を行う。

2 設置学校及び生徒園児在籍状況

(1) 設置学校

ア 藤枝順心高等学校

全日制課程、普通科、調理栄養科（調理師養成課程）、美術造形デザイン科

イ 藤枝明誠高等学校

全日制課程、普通科、英数科

ウ 藤枝順心中学校

エ 藤枝明誠中学校

オ 藤枝順心高等学校附属幼稚園

(2) 生徒園児在籍状況（令和3年5月1日現在）

学 校 名	在 籍 合 計 (人)
藤枝順心高等学校	4 2 1
藤枝明誠高等学校	1, 0 0 6
藤枝順心中学校	5 6
藤枝明誠中学校	2 2 1
藤枝順心高等学校附属幼稚園	3 1 4
学校法人計	2, 0 1 8

3 役員・教職員の状況

(1) 役員（令和4年3月31日現在）

理事 7人

理事長 仲田晃弘

理事 戸田雪子

理事 青島克郎

理事 仲田 務

理事 松田真彦

理事 甲賀美智子

理事 内山知三

監事 3人

監事 畑 正規

監事 森下登志美

監事 加藤友夫

(2) 役員会開催状況

ア 令和3年5月27日(木)

イ 令和3年10月26日(火)

ウ 令和4年1月27日(木)

エ 令和4年3月24日(木)

(3) 教職員の状況(令和3年5月1日現在)

区 分	人 員	備 考
管理職	11人	教育職9 事務職2
幼稚園・中学校・高等学校教員	113人	除 教育職管理職員9人
非常勤講師	109人	
事務職員	23人	除 事務職管理職員2名
非常勤事務職員	5人	
合 計	261人	

II 事業概要

1 令和3年度経営方針

学園創立の精神である仏典修証義「第4章発願利生」の一節にある「自未得度先度他」の教えを基軸として、藤枝順心中学校・高等学校、藤枝明誠中学校・高等学校、藤枝順心高等学校附属幼稚園がそれぞれの特性を十分発揮することにより、地域に密着し、地域に愛され認められる教育活動を展開するよう取り組む。

藤枝順心中学校・高等学校においては、校訓である「自覚」を、人として備えるべき条件、あるいは資格、そして、自立するための学びであり、常に忘れず、怠らず励むこととして目指し、「梅、寒苦を経て清香を発す」という白梅精神「清楚・芳香・忍耐」を教育目標に掲げて、「女性の自律・自主と先度他の心の涵養」を願いとして女子教育に取り組む。

藤枝明誠中学校・高等学校では、校訓「初心忘るべからず」に従い、初学の志、創建の心を守り、学びの中道、物事の中途において常に反省に立ち、初一念の振起につとめている。

また、学園の綱領に基づく教育活動により、知・徳・体を錬成し調和ある人間像を確立することを教育目標としている。

藤枝順心高等学校附属幼稚園においては、創立者の教育方針「強く、明るく」の精神を踏まえて、幼児一人一人の発達の特性に応じ、環境とかかわらせながら幼児教育にふさわしい生活体験を通じて、心身ともに健やかな成長発達を図ることを目指して教育活動を推進する。

教育目標を「豊かな心とたくましい体をもった子」として、思いやりのある子、がんばりのきく子、挨拶のできる子を育てる。そのため、以下を実践する。

- ・ 子どもの理解に努め、一人一人の発達特性や個に応じた指導をする。
- ・ 様々な経験を通して、環境への関心を高めていく保育を進める。
- ・ 社会の変化や地域の要請に応え、保護者との連携を密にして保育を進める。
- ・ 小学校教育との結びつきを図るため、地域の小学校との連携を進める。

2 各部門の事業概要

(1) 藤枝順心中学校

独自のカリキュラムに基づく6年一貫教育を展開し、豊かな感性と大人のマナーを身につけた女性のリーダーを育成した。6年間で3期に分け、中学1・2年は「基礎課程」、中学3年・高校1年は「集中の課程」、高校2・3年は「発展課程」と位置づけ、国公立大学進学を目指した。中学課程については、高校課程も取り入れながら、中学3年で終了した。音楽・美術・体育は6年間を見据え、中学課程・高校課程にとらわれず実施した。

また、総合的な学習の時間では、「エレガントプラン」とともに日本の伝統文化である「茶道」を取り入れ、知育にかたよらない教育活動を展開した。

○ 部活動の実績

バスケットボール部

県中学校総合体育大会 ベスト16

柔道部

県中学校総合体育大会 団体の部 第2位

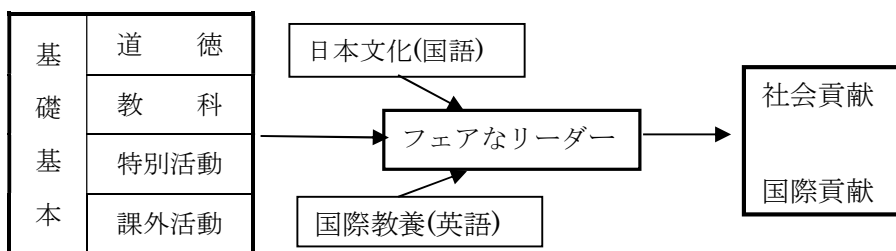
(2) 藤枝明誠中学校

教える者と教えられる者との相互信頼に基づき、高度に知・徳・体のバランスのとれた人格を形成し、国際化、情報化のフロントランナーとして、社会貢献、国際貢献のできるフェアなリーダーを育成した。

リーダー像

- ・ 地・徳・体がバランスよく備わった人物
- ・ 視野が広く、先見性を持ち社会、組織、地域で一流のリーダーとなれる人物
- ・ 旧帝大や国公立大学医学部をはじめとする学ぶ環境の良い大学に進学できる人物

イメージ図



(3) 藤枝順心高等学校

ア 普通科

・ 情報ビジネス専攻

卒業後、経理及び事務関係の職場での活躍を目指す生徒を対象にしている。社会に出て即戦力となり働くことができるように、経理技術及び事務処理技術の習得や文書作成に必要な技術を身につけていくことを目指し、「日本商工会議所主催の簿記検定」「同会議所主催のPC検定」等を取得することを目標とした。また、企業のOA化に十分応じられるよう、最新コンピュータを導入し、エクセル・ワードを用いた教育プログラムを編成して取り組んだ。

2年次から①経理技術及び事務処理技術をより深める「ビジネス会計専攻」

②OA文書作成に必要な技術をより深める「ビジネス情報専攻」の二種類のクラスに分かれて専門的な授業を行った。

・ クックラボ専攻

調理師免許取得を目的とせず、「食」について学び、西洋料理（製菓、製パンを含む）に特化した実習を積むことで、調理に関する高度な技術と知識を身に着けることを目指した。

・ 大学進学専攻 特別進学専攻

大学への進学を目指し、普通科目の学力充実・強化に重点をおいたカリキュラムを組んだ。サマースタディマラソン（夏季休業中の講座）、センター試験対策講座や外部模試には全員参加し、学力の強化伸長に努めた。

イ 美術造形デザイン科

美術造形デザイン関係の資質のレベルアップを図り、将来実社会で通用するデザイナーや、工芸作家としての能力を養成することを目指した。専門教科のデッサン、ビジュアルデザイン、絵画実習、クラフトデザイン等の時間数を多くして科の独自性を発揮した。各種のコンクールに出品し、上位入賞を果たしている。

ウ 調理栄養科

1年生は、普通科目、食品学などの専門科目の基礎からスタートし、2年生はさらに教科を充実、3年生では、調理実習に重点をおいて、調理師免許証を取得できる実

務的な教育を展開し卒業と同時に全員調理師免許証を取得した。また、文部科学省認定の食物調理技術検定1級の取得を目標とした。

○ 進路(合格)の状況(現年生のみ)

4年制大学 35名(延べ)

静岡県立大学 2 静岡文化芸術大学 1

常葉大学 3 豊橋創造大学 3 山梨学院大学 2 大東文化大学 2 など

短期大学 5名

静岡英和学院大学短大部 3 常葉大学短大部 1 奈良芸術短期大学 1

専門学校 41名

就 職 54名

○ 部活動の実績

コーラス部

第76回関東合唱コンクール「銅賞」受賞

手工芸部

第69回静岡県高等学校美術・工芸展 3作品 特選

サッカー部

全国高等学校総合体育大会 準優勝

全日本高校女子サッカー選手権全国大会 第3位

柔道部

全国高等学校総合体育大会 個人の部 4階級 出場

全国高等学校柔道選手権大会 個人の部 3階級 出場

ソフトボール部

第69回静岡県高等学校総合体育大会 ベスト8

第32回中部日本私立高等学校女子ソフトボール選抜大会 第3位

(4) 藤枝明誠高等学校

知・徳・体のバランスのとれた人間を育成し、次代のリーダーを育てることを教育の指針とした。

- ・ 知育では、国際化・情報化社会をリードする高い教養と感性を習得させる。
- ・ 徳育では、道徳心と正しい判断力を育成し、豊かな人間性と人格を養う。
- ・ 体育では、健やかな心身と夢やこころざし実現への強い精神力を培う。

ア 普通科

4年生大学を目指す学科であり、2年次から総合コース(文系)と理数コース(文系・理系)の編成になる。1年次では週のうち2日は7時限、土曜日は隔週3時限の授業を行い、大学進学に向けた教科指導を行った。

【総合コース】

2～3年次では、学習と部活動の両立を図らせつつ、週5日6時限、土曜日隔週3時限の授業を行い、大学入試に対応する学力を習得させるとともに、部活動においては全国大会等の各大会で活躍できる水準の実力を身につけさせることを目指した。

【理数コース】

2～3年次では、上位の大学への進学を目指しながら部活動にも打ち込めるように、週3日7時限、土曜日隔週3時限の授業を行うとともに、文・理別のカリキュラムを準備し、国公立、私立大学のいずれにも進学できる高い学力の習得を目指した。

イ 英数科

難関国公立大学・私立大学進学を目指す学科(内部進学する中高一貫生の1クラスを含む)であり、1年次より英数コースと国際教養コースの2コース編成としている。英数コースでは2年次から文・理別のカリキュラムにより学習している。

【英数コース】

- ・3年間を通して週5日連日7時限、土曜日隔週3時限の授業により豊富な学習量を確保している。
- ・英語、数学を中心に密度が濃い授業や個別指導を行った。
- ・各学年に選抜クラスを1クラス設置し、より高い水準の学習指導を行うことで難関国公立・私立大学、医学系大学の入試に対応できる学力を習得させた。
- ・藤枝明誠中学校より内部進学する中高一貫クラスでは、6年の在学期間を十分に活用した高い水準の学習指導を行うことで、難関国公立・私立大学、医学系大学入試に対応できる実力の養成を図った。

【国際教養コース】

グローバルな視点に立って行動できる人材の育成を目指し、3年間を通して外国人教員による授業やオンライン英会話の導入などにより高い英語力を習得させ、国際関係・外国語系大学への進学を目指している。

また、地域社会の課題分析、解決方法、事業構想の策定を通じ情報収集、分析、判断、表現等の能力を伸長させる「地域課題解決教育プログラム」を導入している。

○ 進路(合格)の状況(過年度生を含む)

国公立大学 67名

北海道大1 東北大1 名古屋大2 浜松医科大1 茨城大2 筑波大2
千葉大1 金沢大2 山梨大2 信州大1 静岡大4 三重大1 広島大2
高知大2 横浜市立大2 都留文科大2 静岡県立大13 他26名

私立大学 576名

早稲田大3 慶應義塾大1 上智大1 明治大1 青山学院大2 立教大2
中央大7 法政大5 東京理科大3 関西大4 関西学院大2 同志社大2
立命館大10 東北医科薬科大1 南山大8 他524名

短期大学 7名

静岡県大短大部 1 常葉大短大部 4 他 2 名
専門学校 18 名
中央医療健康 3 中部看護 3 静岡市立看護 2 他 10 名
就職 7 名
自衛隊 3 菊川市消防 1 日本郵便 1 他 2 名
海外の大学 4 名
サンタモニカ・カレッジ 1 ヘンダーソン州立大 1 他 2 名

○ 部活動の実績

サッカー部

第 100 回全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会 ベスト 4
高円宮杯 U-18 サッカープリンスリーグ 2021 東海 第 6 位

硬式野球部

第 68 回春季東海地区高校野球静岡県大会 優勝

バスケットボール部

第 74 回全国高等学校バスケットボール選手権大会静岡県大会 第 3 位

陸上部

第 70 回東海高等学校駅伝競走大会 第 6 位

柔道部

高校選手権静岡県大会 団体 3 回戦、個人戦ベスト 8

チアリーディング部

USA Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会 2021 EAST

高校編成 Show Cheerleading 部門 Novice 第 1 位 (中高合同チーム)

Dance Drill Winter Cup 2022

第 11 回全国中学校ダンスドリル冬季大会 CHEER 部門 第 1 位

第 13 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 CHEER 部門 第 3 位

USA School & College Nationals 2022-全国チアリーディング&ダンス選手権大会

高校編成 Show Cheerleading 部門 Novice 出場

射撃同好会

第 20 回秋季東海地区高等学校ライフル射撃競技大会

エアライフル少年女子立射 60 発競技 第 1 位

第 40 回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

エアライフル少年女子立射 60 発競技 第 2 位

棋道部

第 52 回静岡県高等学校将棋選手権大会 男子団体戦 準優勝

第 30 回静岡県高等学校新人戦県大会 男子団体戦及び個人戦 準優勝

(5) 藤枝順心高等学校附属幼稚園

平成29年度から、これまでの3歳児から5歳児保育に、満3歳児保育を加え教育活動を展開している。

「健康」 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を送ろうとする態度を育てた。

- ・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、園外保育で歩いたりしたことで、体力向上を図った。
- ・幼児の遊びに配慮した環境整備を進めた。
- ・他の幼児とのかかわりの中で、安全な生活に必要な習慣を身につけさせた。

「人間関係」 他の人々と親しみを持って生活する中、自立心を育て、人とのかかわり合う力を養った。

- ・幼児期にふさわしい道徳性の芽生えを培う指導を充実した。
- ・一人一人を生かした集団を作りながら、人とのかかわる力を育てた。
- ・幼児が「自分が大切にされている」と実感できるような接し方に心がけ、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを養った。
- ・様々な人々と交流し人とのかかわる楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにした。

「言葉」 自分の思いを言葉で表現しようとしたり、相手の話す言葉を聞こうとしたりする態度を育て、言葉に対する感覚や言葉による表現力を養った。

- ・ゆとりを持ち幼児の話を聞くことにより、言葉で伝える喜びを味わえるようにした。
- ・絵本等を通して文字に触れる機会を設け、文字に対する興味や関心を持つようにした。

「表現」 感じたことや考えたことを様々な方法で表現することにより、豊かな感性や表現力を養った。

- ・描いたり歌ったりすることを通して、豊かな感性と表現力を育てた。
- ・幼児がいろいろな方法で表現することを楽しめるように支援した。

「環境」 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ち、知ろうとしたりかかわりを深めたりしようとする態度を養った。

- ・身近な動植物に親しみを持って接し、命の尊さに気付き、いたわったり大切にしたりしようとする心を育てた。
- ・周囲の事象に接する幼児の感動や驚きに保育者が共感し、自然への興味や関心を育てた。

◎ 預かり保育事業

保護者（母親）が働くなどの理由で、家庭の保育が出来ない園児を、保育時間の前後や長期休業中に保育した。平成30年度から2歳児を対象としたプレ保育(預かり保育)活動を展開している。同年度(7月)から預かり保育専用棟を設けて事業実施。

◎ 体操教室の開設

平成 29 年 4 月から、明誠高校スポーツクラブの協力を得て、保育時間帯の体操教室を開設するとともに、保育時間外の「げんきっこクラブ」も合わせ実施し園児の体力の向上に努めている。31 年 4 月度から「サッカー教室」を追加開設した。

◎ 英語教室の開設

平成 29 年 4 月から、柴田マリアン講師(順心中学校英会話講師)の協力を得て、保育時間内の英語教室を開設、あわせて保育時間外にも、希望者を対象として英語教室開催、英語によることば遊びなどを通じて、英語に慣れ親しむことにより小学校英語教育に繋げるとともに、幼児にとって英語をより一層身近なものとしている。